



年代物の梁をキャットウォークに 猫と暮らす家

- 築 80 年の祖母の家 古民家リノベーション -

第35回
住まいのリフォームコンクール

リフォーム前→リフォーム後



Before



After

外装材の傷みが目立っていた既存状態から、傷みを補修・取替えて、新しく、落ち着いた色味の外装で、周囲の環境にもなじませている。



現在ではあまり見ることのできなほど立派な梁を、あえて見せて天然のキャットウォークに。猫が悠々と歩く姿はとても愛らしい。



完成後に設置された、猫が梁にジャンプしてちょうど届く高さのキャットタワー。床材は、猫の爪痕が残りにくい。表面を硬くするための特殊加工を施した。



Before



After

かつての玄関は、キャットウォークを備えたひろびろびんに。



Before



After

間接照明やアクセントクロスなど、インテリアも趣向を凝らしている。



Before



After

梁や柱を活かした広めのキッチンとダイニングに夫妻も猫も全員集合。

きっかけ

賃貸マンションから、空き家となっていた奥様の祖母宅に移り住んだご夫婦。築 80 年以上の古民家は、夏は暑く、冬は寒く、不便な面が多数ありました。また、床のほとんどが畳であったため猫たちが爪を研いでしまっただけでほろほろに…。ほかにも、ダニが発生するなど大変な生活を強いられていました。そこで、建て替えやリノベーションをご検討。奥様のお母様が生まれ育った家ということもあり、思いを形に残すためフルリノベーションを選択されました。

現況調査の結果

小屋裏調査の結果から、筋違い無し、金物無し、雨漏れの痕あり、天井や壁の断熱材無し。瓦は割れ欠け・ずれめくれが少しあり、ヒビや釘の浮きあり、苔が生えている状態でした。木板の外壁材は劣化が激しく、ヒビ割れや汚れがあり、塗膜が劣化して撥水性が失われていました。床下は過去に白蟻がいた痕があり、床下の断熱材はありませんでした。

また、屋根の一部が隣接する車庫の壁に刺さっており、この接合部からの雨漏れが懸念されました。

希望内容とコンセプト

コンセプトは「猫たちとの快適な暮らし」。掃除にあまり時間や手間をかけたくないというご希望から、猫の抜けた毛が目立たない床や、爪痕が残りにくい壁色など、白を基調とした明るく家になりました。具体的には、特殊加工した表面が硬い床材や、年代物の梁を活かした空間づくり、それぞれの部屋を結ぶ回遊動線などで、以前の印象を残しながら、猫たちと暮らしやすく、お施主様の生活に合ったものへ変わりました。

また、陶器瓦や外壁などメンテナンスがほとんど不要でランニングコストがかからないものを提案し、光熱費の削減と合わせて、コスト面でもこれからの生活が楽になるよう配慮しています。

工事のポイント

隣接した車庫に刺さった屋根の解決、筋違いの追加や金物の追加、劣化した部材の取替や補修、屋根断熱と壁・床断熱、Low-E 複層ガラスの複合サッシでしっかりと断熱し、気密を高めました。年代物の梁はキャットウォークとして活かすため、梁上を歩けるように壁をつくらずに仕上げています。これも工済すまい支援事業補助金を利用。

工事内容

- [断熱] 既存 → 今回の工事
- 上部 無断熱 → 屋根断熱 水発泡ウレタン吹付 180mm
- 壁 無断熱 → 高性能グラスウール 16K 90mm
- 床 無断熱 → グラスウール 32K 60mm、根太下タイベックシルバー貼り
- サッシ 単板アルミサッシ → 複合サッシ (Low-E 複層ガラス (日射熱取得率 0.32, 熱貫流率 1.77 ~ 2.23))

[構造]

基本は既存の部材を優先して利用しつつ、折れていた部材の追加、傷んだ部材の入替え、筋違い追加や金物の追加・取換え。

[設備]

住宅設備は総取り換え (オール電化)、屋内の給排水管は取り換え、屋外は既存配管を再利用。電気工事は分電盤やコンセントスイッチ総取り換え、給湯機器も取り換え。

[外装]

外壁は古くなったサイディングを窯業系サイディング 18mm (光触媒) に貼り替え。主な床は表面を硬く特殊加工した複合フローリング、壁は主にビニルクロスやホーローパネル貼。

[内構]

生い茂っていた植栽の整理。既存アルミテラス撤去し新設、部分的に土間コンクリートを打設。



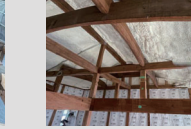
解体工事がほとんど終わって段階。古民家ならではの立派な構造材が露わに。



猫たち同行のお施主様の解体後確認の様子。既存状況や問題点を改めて確認。



屋根の構造材の取替・補強の様子。新旧の材が繋がる様子は趣深い。



屋根断熱が完了した段階。元々の無断熱から大幅に断熱性能が向上した。



単板サッシから Low-E 複層ガラスの複合サッシに代わり断熱性が向上した。



車庫に刺さっていた屋根も短く調整することで干渉を解消した。



敷地は南九州市朝陽町、森林や田んぼの中にたたずむ穏やかな環境。



隣接した車庫に刺さった屋根。母屋のあとから車庫を近い距離で建てたため。



外壁木材は塗膜の経年劣化、撥水性が失われ、ヒビ割れや汚れも。



屋根裏の様子。屋根天井ともに断熱材は無く、引越いや金物も不足していた。



床下は土壌で温度が高めだった。白蟻の被害の痕があった。

昔ながらの和室中心の間取り

昔ながらの和室中心の間取りは床のほとんどが畳であったため猫たちが爪を研いで傷んでおり、ダニの発生や家の隙間から虫の侵入に悩まされていた。

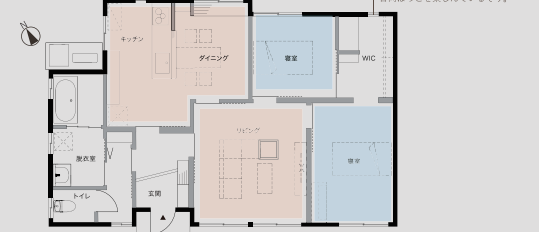


1F Before



ウォークインクローゼットの小窓

2つの寝室をつなぐ収納力たっぷりのウォークインクローゼットにある小窓は、猫たちの特等席。天気の良い日は、窓で外を眺めながら日向ぼっこを楽しんでいるそう。



1F After

住宅設備はすべて一新

5メーカーから選び抜いた特別な素敵なお家の性能を満たした設備になりました。

お客様の声



古民家リノベの対応ができる会社が限られる中、ヤマサハウスさんは実績が豊富だったのでお願いすることにしました。傷がつきにくくて汚れでもサッと拭くだけでOKな床や、新しくキャットウォークになった梁がとても嬉しいです！解体工事の終了後に猫たちと見学へ行った際に、猫が脚立から梁に登っているのを見て、完成後に、高さの合うキャットタワーを用意しました。リノベ後は回遊動線になって広々としたこともあり、猫たちも走り回ってのびのびと遊んでいます。リノベ工事後は光熱費が2~3割削減になったのも嬉しいところ。まだまだたくさん猫を飼いたいと思っています！

応募者・設計者・施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
ヤマサハウス株式会社	80年	在来木造	平屋	2023年5月	7ヶ月	約200万円	南九州市	フルリノベーション